

臨床研究のご説明

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報／研究用に保管された検体を用いて行います。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第 1 号、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 多系統萎縮症の疾患関連遺伝子トリオ解析研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 南須原 康行

[研究代表者所属・氏名] 北海道大学病院脳神経内科・矢部 一郎

[遺伝子解析機関（共同研究機関）] 横浜市立大学 宮武 聡子 機関の長：後藤 温

[研究の目的]

多系統萎縮症の患者さんおよびそのご両親の血液に含まれる遺伝子を解析して、本疾患のしくみを解明して、今後の治療方法の向上に役立てるため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

多系統萎縮症の患者さんで、2000 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に北海道大学病院脳神経内科で研究用の遺伝子採血を実施された、または、先行研究「難治性疾患発病素因解析のための比較対照群血液・ゲノムバンク構築に関する研究」（医 13-035、難治性神経筋疾患の原因究明のために比較対象として健康な方々から採血をいただいてデータを集積する研究）、「多系統萎縮症の発症素因に関する遺伝子解析及び分子バイオマーカーに関する研究」（医 14-004、多系統萎縮症の原因究明のために多系統萎縮症患者さんから採血をいただいて遺伝子や蛋白質等を解析する研究）のいずれかに参加された 20 歳以上の方およびそのご両親

○利用する検体・情報

＊2029 年 12 月 31 日までのカルテ情報を収集します。

患者さん：診断名、年齢、性別、発症年月、神経学的所見、脳 MRI 画像、パーキンソン症状や小脳性運動失調症状

ご両親：年齢、性別

検体：同意を得て保管している DNA 検体 1mL

○送付方法

血液から得られた遺伝子は冷蔵便にて横浜市立大学に輸送し、遺伝子解析を実施します。上記のカルテ情報は試料と同梱して送付します。

2026 年 8 月 25 日（第 1.2 版）

[研究実施期間]

実施許可日（情報の利用、提供開始：2026年9月頃）～2030年3月31日
（登録締切日：2029年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

＊上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[北海道大学病院の連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院脳神経内科 担当医師：松島 理明

電話 011-716-1161 FAX 011-700-5356